

料金後納

ゆうメール

# MACNEWS

〒616-8156

京都市右京区太秦西野町20

TEL 075-871-0374. FAX 075-882-3777

Eメール mac.terakoya@gmail.com

URL <http://www.mac-terakoya.com>

## 今月号の内容

- ※ MACの生徒が元気なのは・・・
- ※ 最近の感想文より
- ※ 良い親、ダメな親、普通の親！！



## お母さん、

幼児から低学年の子にとって一番大切なことは何かと思われませんか？

それは、「できた」「分かった」を多く体験させ、**自己肯定感を育てること**です。

『育脳トライアル』で、子ども達はとても元気になります。

それは『育脳トライアル』をやることにより「できた」「分かった」「初めて知った」を多く体験して、**自己肯定感を育む**ことができるからです。

- ※ 自己肯定感・・・「自分は大切な存在だ」、「自分はかけがえのない存在だ」、と自分を肯定している感覚  
(自分に自信が持てないと、自己肯定感が低く自立しにくくなる)

自己肯定感を育むには、難しい問題や計算だけさせていても育つモノではありません。  
勿論、教科書に準じた問題を反復させることでもありません。

特に低学年時の『学びの基礎作り』の時期に

「今まで知らなかったことを知る楽しさ」「できた！ 分かった！ という喜び」

を、何度も味わうことが、その後の「伸びる力」になり、脳の容量も大きくします。

また、「できた」と思う心は、子供たちの「やる気」を高め、学年が上がるにつれて、はっきりと差が出てきます。

なぜなら、学習の喜びと達成感を何度も体験した子供は、モチベーションが上がり、学びは楽しいと感じたことから、さらに上へとチャレンジする気持ちが生まれるからです。

ところで、子供たちをやる気にさせるのは、

「『やる気』を出させる」 → 「やる」 → 「できるようになる」  
ではなく

「やってみる」 → 「できる」 → 「『やる気』になる」  
が、正しい順序であり、

この「やってみる」時に使う教材が、子供たちの好奇心を刺激し、学習教科の基礎基本を教科書とは切込みを変え構成した『育脳トライアル』なのです。

この育脳トライアルは、高学年バージョンでは 「考える力」や「気づく力」「生活力」「国語力」なども育む問題で構成されています。

子ども達は、ゲーム感覚で育脳トライアルに取り組んでいるのに、成績がアップするのは以下のような学習教科との関連性があるからなのです。

例えば算数においては

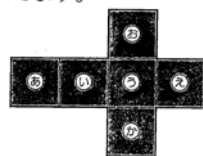
## 4年生 算数の問題

☆ 右の立方体のてん開図を組み立てます。

できあがった立方体で、次の

面はどれですか。

- ㊦ ㊦の面と平行な面
- ㊧ ㊦の面と垂直な面



← 90ページ

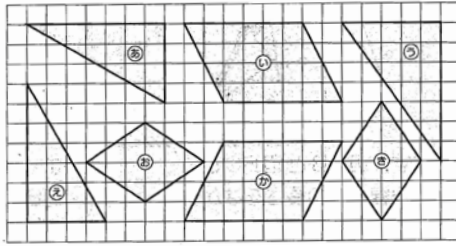
## 育脳トライアルの問題

II 左のサイコロを開くとどうなっているかな？  
正しいものを選んで番号に○をつけよう

① ② ③

# 5年生 算数の問題

☆ 右の図形の中から、  
合同な図形をみつけ  
ましょう。



## 育脳トライアルの問題

- 視野の拡大・保持
- 図形の認知・比較

育脳トライアルプリント  
同図形発見

分	秒	問
3	分間	6



左の形と同じ形を  
右から探して○をつけよう

①

	ア	イ	ウ	エ
--	---	---	---	---

②

	ア	イ	ウ	エ
--	---	---	---	---

# 6年生 算数の問題

☆ 次のアルファベットの中で、線対称な形はどれですか。 ← 8.12ページ  
また、点対称な形はどれですか。

# TAISYO

## 育脳トライアルの問題

- 平面図形の立体視
- 図形の構成把握

育脳トライアルプリント  
切り紙展開

分	秒	問
3	分間	6



左のように折った紙の黒い部分を  
切り取って開くとどれになるかな？

①

	ア	イ	ウ	エ
--	---	---	---	---

②

	ア	イ	ウ	エ
--	---	---	---	---

## MACの感想文より

新入生は

保護者欄 今年に入、マ行きはじめました。  
帰ってくるたびに「楽しかった」と言っています。学ぶことを「楽しい」と  
感じているのはとても貴重でそれを糸継糸売して、いってほしいと強く感じます。  
ほぐれい 距離感で見守って行けたらと思います。  
親見にて

## 学校でそろばんがありました・・・MACの方が分かりやすかった！

いつも お世話になりました ありがとうございます。  
学習する習慣も しっかり身につけはじめ MACのおかげです。  
学校の授業で そろばんがあったのですが、「MACの方が  
やりやすかった。」と言いつつ宿題をしていました。  
色々な指導法があると思いますが、MACへ通う事ができて  
本当に良かったと感謝しております。私も通ってほしい・・・今頃は・・・はんこ(笑)  
4月からは4年生。親子共々勉強したいと思います

## 苦手だった算数が一番好きな科目に

いつも お世話になりました ありがとうございます。  
学習する習慣も しっかり身につけはじめ MACのおかげです。  
学校の授業で そろばんがあったのですが、「MACの方が  
やりやすかった。」と言いつつ宿題をしていました。  
色々な指導法があると思いますが、MACへ通う事ができて  
本当に良かったと感謝しております。私も通ってほしい・・・今頃は・・・はんこ(笑)  
4月からは4年生。親子共々勉強したいと思います

## ことばのワークでは・・・国語の点数がグーンとアップ！

いつもお世話になりました ありがとうございます。  
言葉のワークを 今回も 私の脳のために・・・と一通り解かせて  
もらいました。(笑) 何度も書かせていただいていると思うのですが、  
本当に素晴らしい問題だなあと思えました。書き順や自己紹介、  
言葉の説明・・・これから とても役に立つことばかりが入っていて、  
それを 楽しみながら学ばせてもらっている MACの子たちは、  
とても幸せ者だなあと思えました。  
以前は、国語が苦手だった息子ですが、最近では以前に比べて  
グーンと点数など上がってきています。  
やっぱり MACを選んでよかった!! ポストに入っていた1枚のチラシが  
なかったら 出会えていなかった・・・と思うと、恐ろしいです。これからも 2人のこと  
宜しくお願い致します。

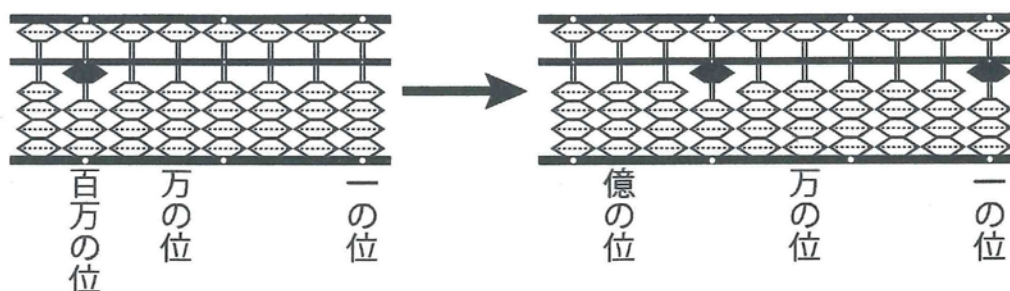
他の育脳教材・「育脳ワーク」や「育脳ことばのワーク」も同様に子ども達の自己肯定感を育むのに大いに寄与しています。

また、小4生には、ソロバンに一、万、億、兆のシールを貼り、大きな数の計算指導をしました。

間違いの多かった問題は

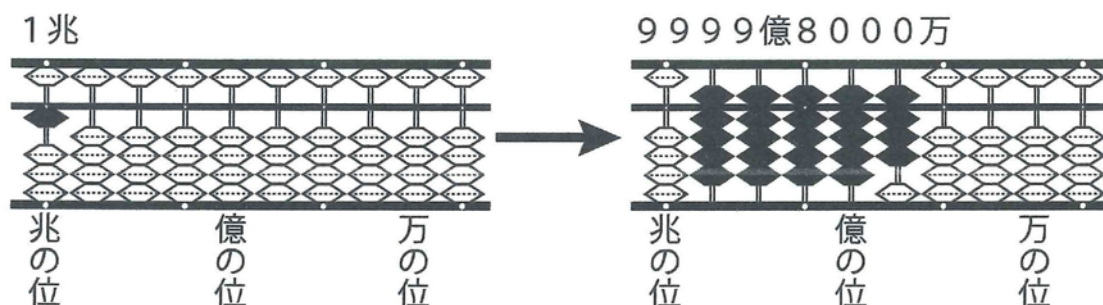
① 100万より1大きい数を数字で書くと？ 10000001 と千万一に。

そこで、ソロバンに100万を下記のように提示し、そこに1を足して、0がいくつあるのかを確認させました。



② 1兆 - 2000万 =

この問題も、下記のようにソロバンを使って指導すると、すんなり理解してくれました。



そろばんの指導をしているのは、小数暗算が出来るようにとの狙いと、実は上記のようなことの解決策として、目で見て分かることから、**教具として大変有効だから**なのです。

(珠算塾や他の学習塾でのソロバン指導は、ソロバンを計算用具としてのみとらえているところがほとんどで、ソロバンのもっている教具としての役割を有効活用できていません)

## 子どもをほめるとき

ダメな親・・・子供をほめない

普通の親・・・うまくほめられない

良い親・・・「驚き」「感動」の言葉でほめる

入塾時に、お母さんをお願いしていることが何だったかを覚えていらっしゃいますか？

「育脳トライアルが1冊終了したときには、答えの間違いを指摘するのではなく、子どもさんが、なぜそのような答えを書いたのかの説明を受け、その説明に感動し、驚いて下さい」と、言うモノだったのですが・・・

実は、M A Cの子ども達が元気なのは、そして「育脳トライアル」が大変好きなのは、1冊終了時の**保護者の「驚き」や「感動」が、子ども達の自己肯定感を育み、「やる気」のスイッチを入れることの後押しをしている**のです。

心の中に大きな○(自信)が付くと気持ちが安定し、もっと○をもらおうと自然に努力するようになります。

ほめるときに注意しなければならないのは、漠然とほめるのではなく、例えば「育脳トライアル」の説明を受けるときのように、**具体的な事象をほめる**(=「驚く」「感動する」ことなのです。

更には、直接的ではなく間接的に「ほめ言葉」が子どもに届くようにすることができれば、より子どもの「やる気」のスイッチが入ることになります。

教室でも、時々この方法により、生徒の気持ちを鼓舞することがあります。

例えば、書写コースでも学んでいる生徒には、

「書写の先生が『この頃○○ちゃん、とても文字がきれいになったよ』ってほめてはったよ」とか・・・(逆に、この頃、書写では先生が注意しても、あまり聞かへんそうやな、しっかり聞かなかつたら、上手にならへんよと叱ることも(>\_<)

ほめ言葉は、子どもの「やる気」にスイッチを入れるモノですが、第三者を通して伝わるとより効果的になります。

「お父さんが、○○がね、一生懸命お母さんの手伝いをしていたのをほめていたよ」

(お父さんは、わたし(僕)のこと、そのように見てくれていたんだ)

「M A Cの先生が、『○○ちゃん、この頃とてもよくできるようになってきましたよ』って面談の時に言うてはったよ」

(先生は、わたし(僕)のことを高く評価してくれている)

このように、( )内のような思いが強くなり、更に頑張れるのです。

個人面談に見えたお母さん、

わたしの言葉をチャンとお子さんに伝えられたでしょうね (^o^)